

ニュース JAFIC EYE №227

9 月におけるサンマの漁況経過

1. 2021 年 9 月の漁況の経過

今年 9 月のサンマ棒受網による生鮮サンマ水揚量は 4,500.6 トンで、前年（955.8 トン）の 4.7 倍であった（表 1）。前年は記録的な不漁であり 9 月の水揚量が 1971 年以降で最低、前々年（2,920.3 トン）は過去 2 番目に水揚量が少なかった。今年は前年、前々年を上回ったものの、過去 3 番目に水揚量が少なかった。生鮮サンマの平均価格は 605 円/kg で前年の 51%であった。

表 1. 9 月の生鮮サンマ水揚量と平均価格

	2020年		2021年		前年比	
	数量(トン)	価格(kg/円)	数量(トン)	価格(kg/円)	数量	価格
9月	955.8	1,184	4,500.6	605	4.71	0.51

（出典：おさかなひろば）

9 月上旬の主漁場は、前年同期よりも西側の花咲東南東 460～720 海里（漁場水温 16～18℃）であった（図 1、2）。1 日 1 隻当たり最高漁獲量は 10 トンと少なかった。漁場は遠く、小型船の多くは出漁できなかった。漁獲物は、体重 90～120g モードで痩せていた。

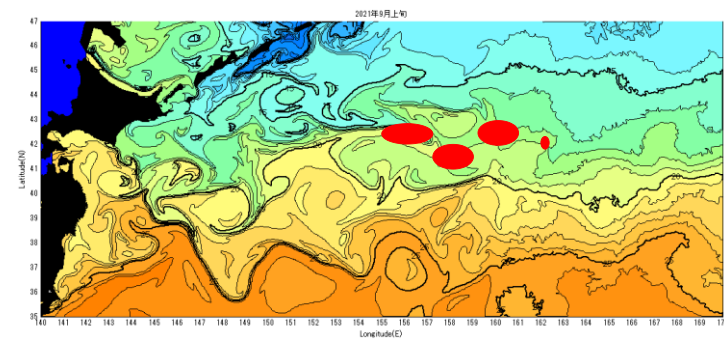


図 1. 今年 9 月上旬のサンマ漁場と海面水温分布

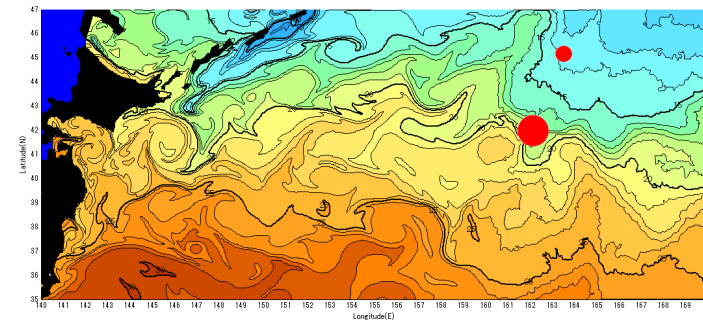


図 2. 前年 9 月上旬のサンマ漁場と海面水温分布

9 月中旬の主漁場は、前年同期同様、沖合の公海で、花咲東南東 580～620 海里（漁場水温 16～18℃）であった（図 3、4）。1 日 1 隻当たり最高漁獲量は、14.5 トンであり、9 月上旬よりも多くなったものの、極めて低調であった。漁獲物は、体重 100～120g モードであった。

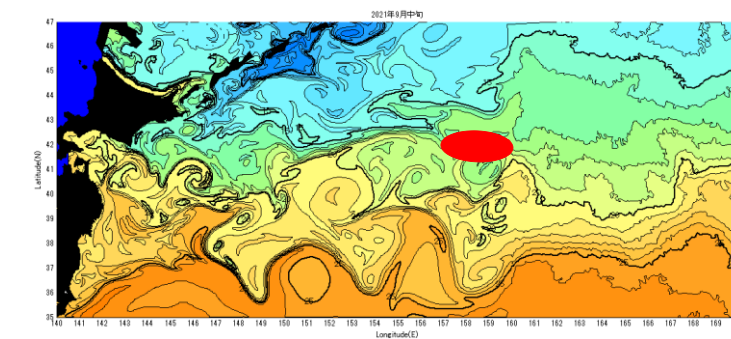


図 3. 今年 9 月中旬のサンマ漁場と海面水温分布

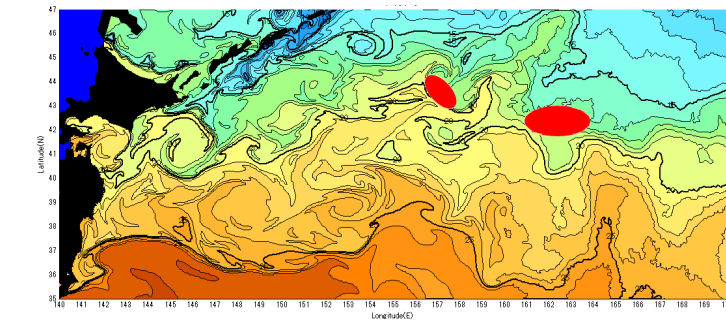


図 4. 前年 9 月中旬のサンマ漁場と海面水温分布

9 月下旬の主漁場は、花咲東南東 240～360 海里（漁場水温 14～18℃）であった。また、花咲港から 1 日半程度かかる花咲東北東沖（漁場水温 16～17℃台）、花咲東南東沖 470～580 海里（漁場水温 16～17℃台）、花咲東沖 530～580 海里（漁場水温 16℃台）にも一時的に漁場が形成された（図 5、6）。このように、9 月中旬および前年同期よりも漁場は西側にも形成された。1 日 1 隻当たり最高漁獲量は 42 トンであり、9 月中旬および前年よりも多くなった。漁獲物は、体重 100～120g モードであった。

なお、花咲東南東沖 300 海里付近では、9 月 21 日夜に千葉県水産総合研究センターの千葉丸がやや型の良いサンマを漁獲し、この場所で 9 月 23 日夜に操業した大型船の漁獲物には他の漁場よりもやや太った個体も混じり、体重 150g 以上の個体もみられた。これらのことから、この頃に本格的な南下群が出現したと考えられたが、前年（9 月 29 日頃）よりも早かった。

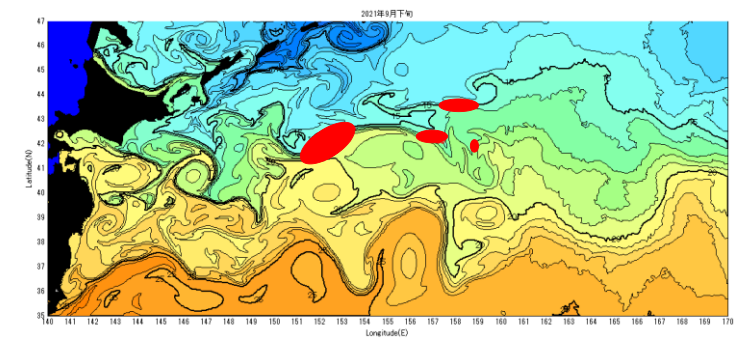


図 5. 今年 9 月下旬のサンマ漁場と海面水温分布

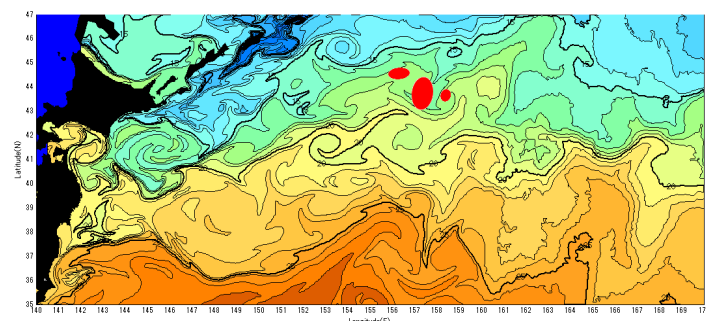


図 6. 前年 9 月下旬のサンマ漁場と海面水温分布

2. 2020 年 9 月と 2021 年 9 月の漁獲物の比較

今年の 9 月の漁獲物は、体長 29～30cm、体重 100～120g モードであった(図 7)。前年の同期の漁獲物は体長 29cm、体重 110～120g モードであり(図 8)、今年は、体長組成・体重組成ともにほぼ前年と同じであった。9 月 12 日夜における漁獲物について、体長と体重の関係を比較すると、今年は前年に比べて体重が 10g 程度軽く、今年の方が若干痩せていた(図 9)。

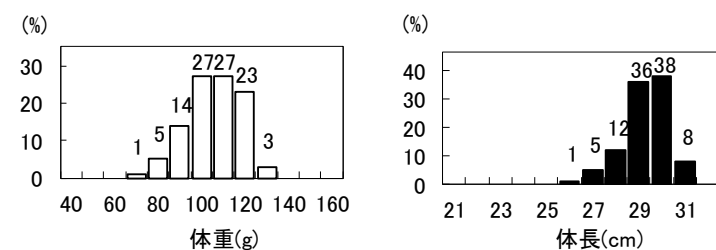


図 7. 今年 8 月のサンマ体重組成(左図)と体長組成(右図)
2021 年 9 月 12 日夜操業、16 日花咲水揚

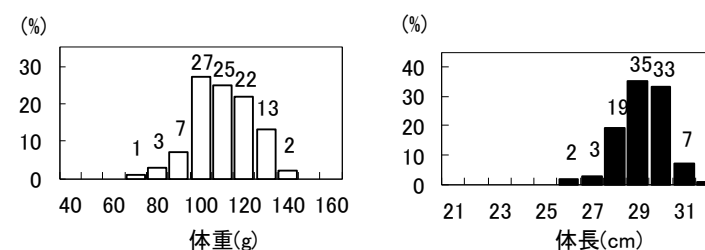


図 8. 前年 9 月のサンマ体重組成(左図)と体長組成(右図)
2020 年 9 月 12 日夜操業、17 日花咲水揚

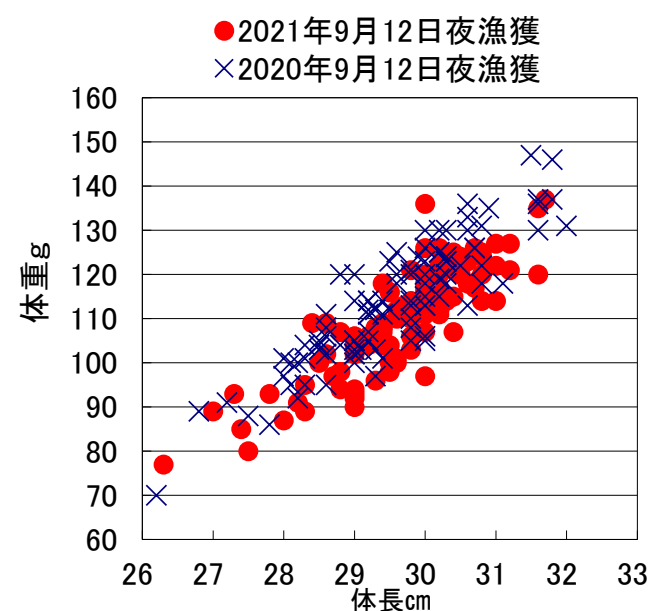


図 9. 今年と前年 9 月のサンマ体長と体重の関係
今年・前年ともに 9 月 12 日夜操業

3. 現状分析と今後の見通し

今年 9 月の主漁場における漁場水温は、16～18℃台であり、8 月に引き続き水温が高い所でサンマを漁獲していた。

前年もほぼ同様の傾向であり、この水温が高い所にいるサンマは、前述のように今年の方が若干痩せていた。これらのサンマはすぐに南下するものではないため、漁獲がまとまらなかったと考えられる。

一方、9 月 21 日夜に花咲東南東沖 300 海里付近でやや太った南下群が出現した。南下群の出現時期は、前年よりも約 8 日早かった。南下群が出現したため、9 月下旬に少ないながらも漁獲は増加したと考えられる。

10 月に入り、順調に漁獲量が増加するかと思われたが、10 月上旬の台風通過後、想定したような降温が進まず漁獲量が伸び悩んでいる。本来、今年の資源量が少ないことを反映した状況であるが、漁獲量が少ないながらも、南下群と思われる体重 140g 以上のサンマの割合は 10 月に入り増えてきている。近年、10 月中旬～11 月に漁獲量が増加していることから、南下群の出現とともに今後漁獲量が増えると思われる。

(水産情報部)